

第二話 利益無限大の立役者、V ガンマツール実践映像

こんにちは。持田幸子です。

前回はV ガンマ動画の可能性についてお話をしました。

今回は実践動画をお届けします。

では、トレードの実践動画をどうぞ。

では、ツールの解説をしていきたいと思います。

はい、こちらがトレードの計算ツールの画面になります。

見ていただくと大変シンプルなのがわかると思います。

下の方に出ていますが、

基本的に入力するところはこの6つの項目だけです。

しかも上のこの3つはプルダウンで選べるように、

そして定期的にメンテナンスもしているの、

もう選ぶだけというね、打ち込むのは下の3つだけという、

そういう状態のとってもシンプルなツールになります。

そもそもなんでこのツールを開発しようかしようと

思ったかということなんですけれども、

まず、このV ガンマが相手にしているマーケットというのは、

もう宇宙空間のようにですね、無限な広がりを持っているものなんですね。

そうしたものを相手にするので、

これを提供している証券会社、そのマーケットの売買を

させてくれる証券会社であり、ブローカーでありって

言ったところには、必ずこうしたツールの

提供というのものなんですよ。

ところが、そもそもこのツールというのはですね、

なんであるのかといえば、最初に日本に入ってきた時もそうですし、

そもそもがもう百億、二百億、何千億というような金額を運用している

ファンドマネージャーのような人たちが使っていくツールとして

出てきているものなので、複雑なものすごくいっぱい出てくるし、

一体どう使ったらいいのかわからないっていうようなものも

ついてるような装備になってるんですよ。

問題は、じゃあそこまで必要なのかって言われると、

実際このV ガンマでシンプルに戦っていくことだけを考えると、

全く必要ないし、要はその装備状態のツールを使うよりも
シンプルに自分が次にどうするのかっていうことだけが
わかるものを作りたいということで削ぎ落として、
装備過度な装備、いらないものを全部削ぎ落として、
単純に右に行くの左に行くの、
そしてこの先どうなるのっていうことだけが
わかるツールにしたい、
ということで作ったものなんですよね。

これ、見た目はとってもシンプルにはできているんですが、
大変難しい計算式が入っています。
なので、ちゃんと本当にツールを作ると言っても、
私自身はプログラムの才能がないので、
できるかなと思って心配をしていたんですけども、
とっても優秀な開発者に何人かお会いして、
その中でもより優秀な方が最終的に作ってくださったので、
とっても使いやすいシンプルないいものになりました。

私もこれを実際使ってますし、
これを提供して使っている方々も、
皆こんなに簡単にできるんだねと言って
とっても喜んでいる、という感じになります。

これ選んでいくのがこの上の
3つっていうふうに言いましたけれども、
このプルダウンで選ぶ日付も出てくるので、
選ぶ条件も、そして自分で今の状況を入れていくんですけども、
自由に数字を打ち込んでいけばいいんですが、
単に軽くボタンを押すと、カルキュレーションですけども、
答えが出てくるので、この答えを見て、
よしじゃあこうしよう、と言ってトレードに向かうという、
本当に何て単純、もう本当にとってもシンプルです。

かつこれが自分が次にこれをこうする、って決まりますよね。
そうすると、その後にこれがこの先こうなったらこうなるね、
っていうのが、またさらにこの計算ツールで
分かっていくことができるんですよ。

日付が先になりました、3日か4日経ちました、
その時に値段がこんな風に変わっていました、
でどうなってるんだろうって計算してみると、
またそこで出てくるので、自分の中のそのイメージ、

この先こうなったらこうなるというシミュレーションが
どんどんできていくっていうことになるんですよ。

これだからもう単純に言うと、
まず使うその最初に入れるところが大変シンプルで、
簡単に軽くボタンを押しただけで
答えが出てくるっていう風に言いましたけれども、
これって、その無限に広がるような世界の中でっていうのは、
いわば上高地みたいなところで、あの霧があるような状態で、
自分が歩いて右も左もわかりません、
どっちに山があるのかもよくわかりません
って言っているような時に、
自分がこのツールを持っていることによって、
右に行くのか左に行くのかというのが分かって、
かつその先にもうちょっと歩いて行った先は
どうなってるんだろうっていうと、
今度は川があるのかな、あの林が出てくるのかなって
そういうのがわかるという、まさにそういう状態のコンパスを
自分が持つてるような状態、もっと言うとその無限な世界を
歩いていくための自分の物差しであり、コンパスであり、
と言うようなものを持った状態で歩いていくっていう、
そういうイメージのものなんですよ

なので、このツールがあることによって、
より効率的に、しかもこんなにシンプルなのによって事で
トレードができて、かつよりシンプルで効率的にできるということは、
より動きやすいチャンスもたくさんあるということになるので、
本当に楽なツールですし、大変おすすめの
ツールに仕上がっていると思います。

なので、ぜひこのツール皆さんも使ってみてくださいね。

改めて前回もお見せした実績表を見ていきたいと思います。

こんな風にですね、毎月 50 万円をリスクにさらして
やっていた結果ですけども、
こんな風に毎月毎月 1 ヶ月終わったところでの
月のこの利回りが出ています。

まあいい時にはこんな風に、2 倍になった月が続いたり、
5 倍 10 倍になったということもありますし、

20 倍 30 倍、そしてちゃんと利食いしてということもあるので、
まあたまたまこの表の中にはありませんけれども、
100 倍になるという時もあります。

そして、リーマンショックの時なんかでは、
1000 倍ということもありえるということになります。

こうしたことをやっていくための、
そのためにツールというものが作られているわけですが、
表示されている数字があります。
ある一定のもとにルールに基づいて算出されたものになりますが、
この数字というか、この計算式というのは固定になっていて、
そして回転もして、さらに使いやすい状況にもなっているので、
どれを取引すればいいのかとか、それからそういうものも
簡単にこれで見つけられることができます。

そもそも対象にするマーケットは、
50 倍とか 100 倍とかっていうことも
あり得るようなところなんですけれども、
それだけ対象にしなきゃなるものというのが
ものすごくたくさんあるんですよ。

なのでそのいっぱいあるものの中から、
どうしたものを選んでいけばそれが一番いいのかっていうことを
表示するようなツールにもなっています。

ツールだけで勝てるんですかという話なんですけれども、
まずこのツールがあるからこそ勝てる、
というのが言えますね。

実際に勝って来ていますし、
自分もツールがあることですごく楽にもなっています。

このツールの中身に入っている計算式とか、
元になっているものというのは、もうかなり複雑なもので、
その時々ものを反映して、改訂も行なっていくようなものなんですけど、
それも使う人にとっては、もう知らなくてもいいことだと思います。

今日はその学習すると言っても、研究をねする、
そして、ものすごく難しい、自分が東証にでも新たに寄せるような
指数を作るとかっていうような場合でない限りですね、
あんまりその中身を知っても意味がないですよ。

実際に中身を知らなくても全くトレードができますし、
出てきた数字をもとに正確にトレードしていけばいいだけの話なので、
ツールの通りにやるだけでいいですし、
ぶっちゃけですね、一番単純な紹介している
一つ目の方法においてはですね、
ツールすらなくてもできるっていうぐらいの
状況まで高まっている手法になります。

ただこれは2や3のさらに応用編でやっていく、
安定的に収益を狙う、そしてチャンスを大きく
活かしていくって言ったような場合、
これはツールがあった方がより精度も上がりますし、
それがないとできないところもあるし、
まさにそれがあのツールが肝にもなっているわけですが、
そもそもこのツールがあることによってですね、
このマーケットと戦うための物差し、
もしくはその羅針盤というかね、そういうものを
持ってるような状況になっているということになります。

さて、実際に今どのぐらいチャンスが
あるんですよっていう話をしているので、
実際の映像の対象にしているものの値動きというものを
見ていきたいと思いますけれども、
1回目の動画の時に、あの後出しエントリーの
話をしましたけれども、実際こういうことなんですよね。

例えばここにあるのは、先月のシリコンバレーバンクと
シグニチャーバンクが破綻した時の値動きになりますが、
こんな部位ですね、まあこれはとある対象にしているものと
ある一つのものになりますけれども、
こんな風に80円ぐらいだったものが、
ピーっとこう下がってきて半分になりました、
40円になりましたで、これたらたらししていると、
私が例えば50円で買っていますっていうのを知っていて、
で、その後に買った人は40円とかね35円とかで
買えてるっていう事になるんですよ。

そうするとその後にですね、衝撃的な話が起ったとなると、
それまではずっと動いていなかったのにですね、
いきなりこんな190とか大きなところまで

伸びているということになります。

そうすると、これ簡単に 35 円ぐらいだったものでも、単純にこの 5 倍 6 倍という風に、急激に動いているというのがわかると思います。

こんな風に、チャンスというのが結構多いんですよね。

これ説明すると急激に来たんですが、これ 3 月のこの 1112 というのが、実際これ破綻しますよ、クローズしますよと言われたのが金曜日のニューヨークの終わりのところなので、もうそれまではあまり反応もしてないんですよね。

対処を実際はしたんですけども、みんなこうびっくりした分というね、織り込まなきゃいけないということで、その週が開けた後もこんな風な動きをしていましたし、ちょっとしばらく混乱が出ていたという感じになりますが、こんな風にちょっとした話の中でも、こんなあの大きな動きをするんですよね。

これも同じ時のものの違う銘柄になりますが、やっぱり同じようにですね、まあ 50 円ぐらいだったものが 350 円も超えているので、これだと短期間の間で 7 倍ぐらいに、これで言うと本当に 2 日ぐらいの間って事ですよね。

なのに 7 倍ぐらいになってるっていうのが分かるかと思います。こんなものが続出していた時期ってことなんですよ。

そうなるとう結局そういうショックが起こった時に、一つのものでなくても違うものであっても、こんな風に急激に動いて、そしてね大きく儲かるということが十分にありえるものなんですよ。

例えばこれはちょっと昔の話になりますけれども、これはまたまた違うこの銀行の時の話とは違って、全人代が 3 月の初めにありましたけれど、そのなんか全人代に向けて出席の続投もそうですし、なんかこうね、手を打ってくるんじゃないかとかいろいろなそういう思惑もあって、これだから別にショックということの話ではないんですよね。

にもかかわらず大きな材料もないのに、
なんとなくこうムードぐらいのところで、
これだけの動きをする、
これだとやっぱり 50 円ぐらいだったものが 500 円ですから、
これだと 10 倍ぐらいになってるというのわかりますけれども、
必ずしも大きな材料がない様子に、
すごいイベントがあった、ショックがあったというわけでもなくとも
こんな動きをしたりするんですよね。

ここがまた面白いところかなというふうに思いますで、
もうちょっと違う例を挙げると、これも同じ時ですよね。

3 月の全人代の前の動きですけれども、
もう本当に 10 円ぐらいだったものが
14 円ぐらいまでになってるので、
もうこれもね、14 倍ぐらいになってるということになります。

日にちで言うとたかだか 3 日ぐらいの話になりますから、
大きな材料もない、でもこんなに 10 倍ぐらいになるものがあるというね、
しかも自分が払ったものよりもマイナスになることない、
まあ単純に言うとかれ例えば 10 円で買ったとすると、
要は 0 以下にはならないので、自分の払った 10 円が
そのままマイナスになる、でもこれ以上のマイナスはないっていう
そういうスタイルになります。

こんな風に大きく狙っていけるというところがまあ面白くて、
結局本来であれば、その 3 つの手法の中の 2 つ目 3 つ目の
そのひねりを入れていく、安定的にゼロから積み上げていく、
フレームを取るというその醍醐味に至らなくてもですね、
これだけその大きく動くものがバーンとあると
それだけが楽しくて、毎月それだけを
やってる人がいますよっていうのは、
まさにそういうところで、なんかこう大きな何か、
そういう動きだけを楽しく毎日とっていこう
ということもできるということなんです。

ですからいろいろなものが含まれては、
いろいろな側面を持った複合的なものではあるんですが、
でもこんな風にワクワクするのが楽しいわという方は、
それだけをやっていくということもできるんですよね。

これなんかだとやっぱり、これも本当に1日の間のことですけど、6倍ぐらいになってると思いますが、これは去年の9月ぐらいの話ですけれども、この時何があったかと言われるとやっぱりこれも大きなショックみたいなことはないんですよ。

ただ金融マーケットの中で言うと、この時あのドル円がすごく動いた時で、昔のずーっと越えられなかった24年ぶりの高値を更新してきた時になります。

こんな風に特に大きな材料もないとか、マーケットの中の他のところ特にドル円なんかは日本人にとってはとてもこう馴染みのある、大体今いくらぐらいかなって言うのがみんながつかみやすいところだと思うんですが、こういうものがすごく動くって言った時にも、同じようにこのVガンマで対象にしているマーケットでは、それに合わせてこんな風に爆発的な動きをするというね、そこがまた面白さでもあり、特徴でもありという感じです。

同じような話にはなりますが、これも今度は11月の時の話ですよ。この時もかなりの勢いで4倍とかに大きく動いてましたけれども、この時もあんまり大きなことはなかったんですが、やっぱりあのドル円の大きな動きに合わせて、こんな風に動いてしまったということになりますね。

それだけ変動がすごく激しいし、結局このこうして変動が激しい、この触れを取りに行くっていうことをメインに据えてトレードができるというマーケットはここにしかないですし、そういうものと戦っていくためにはですね、やっぱりこのツールがあるということが、自分の物差しであり羅針盤でありというものがすごく大切だって言いましたけれども、それだけフレーム激しい中で戦っていくためにすごく重要なものになるっていう事なんですよ。

皆さんの記憶に新しいところで言うと、この時もなんかで言うとそうですね、これもね10倍ぐらいになってます。

東京オリンピックが行われる時の前ですよ。

これこれになってますが、結局これは
たまたまこれ1枚をあげていますけれども、
結局これ以外に似たような動きをするものが他にもいっぱいあって、
そしてみんな自分がどこの地点で持ってるかだけの違いなんです、
結局あの大きく伸びたところを
取りに行くことができるということです。

ただこれ、動いたと言ってもまあ考えてみれば、
後から見て何でこんな動いたのかなっていうこと、
これもあんまり材料のない所なんです、
やはりこれ特徴としてわかるのは、
ここで急激にずっと動いてないのに
急激にビャーっと動いてでも、
その代わりビって下がってっていうのがわかると思いますけれども、
こんな風にとっても値動きが激しいんですね。

まあだから、これだけ値動きの激しいものを
相手にするからこそチャンスもいっぱいあるし、
だからこそまさに、取っていけるということにもなるんですが、
じゃあこんなマーケットがこの先なくなっちゃうんじゃないのって
思うかもしれませんが、それは全くそんなことがなくてですね、
むしろこのマーケットというのはあまりにも便利なので、
予想して上がるのか下がるのかということではなくて、
それ以外に使える使い道というのがいっぱいある、
金融デリバティブ市場になるので、
もっとこれを活用していこうという動きの方が強いです。

巨大な市場ですので、あまりに巨大すぎて
どんどん新しいものが開発できるぐらい、
今使い勝手の良いものでもあって、
多分皆さんが投資信託とか何かファンドのようなものを
買った時にも、実はその裏で運用する人が
実際はそれを使ってマネージしていたり、
実はそれから恩恵を得るような形に設計されていたりという、
そういうものの一部にも使われているようなものでもあります。

なので超巨大な市場です。
だからなくなるっていう事は全くありえない、
そういうマーケットになりますし、結局のところ、
そういうマーケット相手に本質を知って、
その部分でがっちりマーケットを相手にとっていくという方法を
それだけ使われているにも関わらず、

だからこそ使えてる人も、一般の人は特に少ないということにもなるので、これは自分も参加できる人になるっていうのはとても貴重ですし、この先、生き残っていくためにもすごく重要な投資スタイルを身につけることの一つにもなるんじゃないかなと思います。

特にこのどんどん開発されているっていうのがですね、初見で相手にしているのはとりあえず日本で、日本人が手がけられる、手掛けやすいものを相手にするようにしているんですが、実はアメリカではもともと歴史もあってメジャーなもので、あらゆるところで普通の個人投資家が参加できるような商品がどんどん開発されていってます。

それもあって、アフターコロナの後にあのいろいろな株の、ミーム株っていうのが出て、すごくいろんな、こんなゲームソフトを店頭で売ってる会社がこんなに上がるのっていうようなことがあって、株式市場を驚かしたっていう話がありましたけれども、あとね、あのガラケーよりも昔のノキアの携帯とかね、ああいうのがすごく上がるとか、コロナで潰れそうになっていたハーツが、結局あれは破産を申請しましたけれども、そういう会社の株がすごく上がるとかっていうことがありましたが、その背景には、このVガンマでも相手にしているこのマーケットで、アメリカではアメリカなりの、もっといろいろな商品が個人向けにあるので、そういうものを使った結果、もう巨額に株価の方が押し上げられて、というようなことがあるんですよ。

アフターコロナで若者が結構儲かっちゃってっていうような話も、まあそういうところから出てきてるんですが、日本の場合はそうしたものができるものというのがすごく限られているので、逆にできるものを使ってやるという方法でやっています。

ですから将来的にこの方法を知っていて、もしもあの日本の中でもっともっとそうした提供者側が有利になるような商品開発ではなくて、個人向けのそうしたものがもっともって出てきた時には、そういう時にもこのVガンマで得た知識っていうのがすごく役に立つようにもなると思うので、もう本当に知っておいて全くとって損はないというふうに思いますし、だからこそ一生もののスキルに変わっていくんじゃないかなというふうに思っています。

なんとなく日本人は結構新しいもの好きですから、
新しいものとかが出てきた時にもちろん、
暗号資産なんかはアメリカの方がもっともっと
巨大にマーケットもどんどん新しく
出来上がってっていうのがありましたけれども、
同じように、まだ日本も規制がないと
みんなよく情報を得たりするのは早いので、
結局いろんなところに規制がかかってくると、
そして新しい市場というのが、みんな新しいところに
バッてお金が入ってくると、それで盛り上がって、
高騰してってのよくある話ですよ。

まあそういう中でのお祭りのな盛り上がり方があっても、
結局そういうものというのは一時のブームで
終わってしまうということもありますよね。
結局その中でも選別して自分が持っていかなければ
いけないっていうことに気づくことがよくあるんですが、
今Vガンマが相手にしているマーケットは、
そうしたものは全く違うマーケットなので、
なくなるということももう全くありえないです。

なので一生もののスキルになっていきますから、
ぜひとも取り組んでほしいなというふうに思います。

投資を始めた方がいい理由についてですけども、
はっきり言って今後の日本、これ世界もそうですが、
特に日本では貧富の差が拡大していく方向にしかもう行かないですよ。

私、最近やっぱり思うのは、あの1回目の時に
1億4千万が平均のマンションの販売価格っていう風に言いましたけれども、
これが80年代後半も住宅の価格がすごく上がって、
そして普通に真面目に働いている人が
家を買えないっていうことが問題になって、
そして近隣をどんどん引き上げるようになってます。

最終的に日本の不動産バブルは
崩壊したというふうに言われていますけれども、
当時は少なくともその真面目に働いた人が
家を買えないのはおかしいという声が上がって、
そして実際それが政策に生かされていくっていう
時代だったと思うんですが、30年経ってみると、
結局のところ、平均価格が1億4000万になっても、

それに対しての怒りの声というのがほぼ聞こえない、
そして資産もすでに親なしさんだったり、
すごく年収の高い人もいますから、
パワーカップルというね、年収の高い人同士で結婚したりとか、
それも当然そうでしょうし、そういう人たちにとっては、
別に平均価格1億4000万でも全く問題はないですよ。

それに今は超低金利が続いていますから、
お金を借りるというのも収入の裏付けさえあれば
そんなに無理しなくても、
まあ1億ちょっとの金額を借りるということは
できないことはないかもしれません。

でも普通に考えたら、そういう人とそうではない人っていうのも
差があまりにも歴然として、要はこう真面目にちゃんと働く人が
報われない社会になってるにも関わらず、
それを救う、変えていくための施策っていうのが
全く取られないっていうことが、
これ自体が貧富の差が広がっていても仕方がないねって、
みんながもう諦めている状況になっているだけ、
当たり前のことになってしまっているということの
裏返しだと思うんですよ。

でももちろん地道に働くということはすごく大切ですし、
私はこの仕事もそうなんですけれども、
好きでやっていることですから、
死ぬ直前までやり続けようと思っているぐらいなので、
お金を稼いだから引退してゴルフ三昧とかっていうことを
全く考えてなくて、仕事をしているっていうことが、
本当に人間の一番の幸せじゃないかなって思うほど、
価値観が普通とは違うのかもしれませんが、
どっちにしてもその働き続けていくっていうこと、
それもしっかりと地道にやっていくってことは
すごく重要だと思いますけれども、
その結果、ものすごく自分が食べるものにも困るとか、
住むところにも好きなところにも住めないっていうのでは、
それもまあ運命だと思って諦めるのも一つの方法ですけども、
自分でそれを打ち破っていくこと、
そして変えていくことっていうのができるはずですよ。

そのためにも自分自身で結局それがどういう道であれ、
選び取って得るという、そういう形にしないことにはいけなくて、

その選取るための裏付けとして、やはり自分の身を守るためにも、
自分が自分の人生を選び取って幸せに生きるためにも、
そのお金を稼いでおくという方法を知っているということ、
もしくはたまたまそういう財産を自分の力で作れたっていうこと、
これはやっぱりすごく重要なことだと思います。

孫子は兵法の中に、兵は国のもとになり、
というところから始まりますで、
その中に兵のいろんなことを話す中に
早く尊ぶという言葉も、早起きを尊ぶという
言葉もありますが、とにかく稼ぐということは、
稼げるという力を持っていること、
要はその武器を持っているということ、
その自分の中での武力を持っているということ、
力を持っているということがまず大切で、
かつそれはいつかやればいいのかと思ってる、
結局のところそのいつかっていうのが、
もう世の中が大転換してしまった後にさあ始めようと思っても、
その時にはもう自分の余力が残ってなかったりって
いうことも十分にありえますよね。

なのでやはりですね、今自分ができる時に
できることを精一杯やってみる、
なるべくつけられるスキル、もしくは出会ったスキルで、
この際自分が身につけてしまった方がいいなと思うものは
早めにやっておく方がいいかなと思います。

そうすることによって、
次のそのそもそもこの部位ガンマというのは
再現可能性がとても高い手法だっていう風に言いましたけれども、
その再現をするというチャンスが増えていくということにもなりますし、
自分が死ぬまでの間に、それだけ増えていくということになるのです。

ぜひ飛び乗ってやってほしいなっていう風に思います。

要は時間もったいないですよ。
考えている間にもう時はどんどん経っていくし、
どんどん世の中とか、世界が変わっていく中で、
もうとにかく自力でどうやって生きていこうか、
独力でどうやって生きていこうか、
ということを考えなければいけないし、
その力を持っていれば何があったって、

逆に言うと怖いものはなくなりますよね。

なので東証始めた方がいい理由というのは、
自分が未来を恐れなくてもいいということにつながっていくからこそ、
投資を始めた方がいい理由になります。

しかもそれができる限り、変な方法ではなく、
ってことですよね。
1回儲かったり、ずっとそれで1回1回儲かったのが
一生遊んで暮らせるぐらい儲かったならいいですけども、
普通の場合は単に1回儲かったで、
そこまで恵まれるという確率は相当低いですから、
地道にやっていって、マーケットとずっとやっていきながらも、
ちゃんとお金が残っていけるという方法を
いかに正攻法として身につけるか、
ここがまた次の肝になってくるんじゃないかなと思います。

3月の銀行破綻の話をしましたけれども、
あの時はあんな風にちょっと話が起って、
土日に早急に動いたことによって金融不安金融システムに
対する不安というのは、みんなそのリーマンショックの時のことが
頭にまだ記憶として新しいですよ。

なかなか10何年しか経ってないということもあって、
結局その時のことがあるので、当局者もすごく動いたのも早いですし、
みんなそうになったらどうしようとみんなが思ったんですよ。

アメリカで言うと昔、日本のことをバカにしていた
護送船団方式とかね、互助方式みたいなものをもって、
今また経営が危ぶまれているシリコンの次に経営が
危ぶまれているところに、大手4行がお金としてね、
4兆円とか5兆円の資金を預金として預ける、
ということがありました。

今実際にまたさらに引き出されていってということになっているので、
また経営危機が叫ばれていますけれども、
それでも今のマーケットとしては、リーマンショックの
ようにはならないねっていうのが今のコンセンサスです。

みんな口を揃えて、金融機関の人も
アナリストも経済学者も当局者も、制作をやってる人、
みんなそういう風に言っていますが、

本当にそうなのかというのが誰にもわかりません。

ちなみにあのリーマンショック、倍率で言うと、
このVガンマが相手にしているマーケットの中で、
倍率1000倍になったという話をしましたけれども、
そういう1000倍になるような時に至るまでには、
リーマンショックでさえ2年間かかってるんですよね。

そこに至るまでには、それまでに
いろんなところにポツリポツリと話があって、
そしてぽつりぽつりにある中で、最終的に大きなところに行って
それを救うことができなくて、
それでリーマンショックという名前になりましたけれども、
あれリーマンの前であれば、
ベアスタンスショックだったのかもしれない。

要するに、どこかであの援助し続けられ、
整理をし続けられる限界が訪れるわけですよね。
そのため、それに少なくともリーマンは
2年かかったということになりますが、
最近このアメリカの銀行破綻の話の中で言われているのは、
形としては1980年に起こったS&Lの貸付組合の時の、
どんどん破綻していったんですけれども、
その時に似てるよね、だからリーマンショックに
ならないよねっていう風に言う人がいます。

これはある意味、確かになんかリーマンショックの急激な、
強烈な、ということがないかもしれません。

ただこの場合はどうかというと、
1980年から結局その話が最終的に決着するまで
10年間かかってるんですよね。

要はポロポロといろいろなものが破綻して行って、
その最終的な処理が終わるまでに10年かかったということを考えると、
今回の話はそっちの方に方が似ているんだとすれば、
ひょっとするとこの急にボラティリティが上がる、
急にそのショックが起こるっていうね、
ちっちゃいショックがチョコチョコ起こるっていうのが、
ずっとこの先10年ぐらい続く可能性も
ないとは言えないということですよ。

ちなみにあの FRB の要人なんかの言っている話は、
この今の金融システム不安というのは、アメリカが金利を
上げていく過程の中で起きていることだ
ということがもう一つの特徴で、
リーマンショックの時は、金利を下げていた過程で
起こっている時だったので、またちょっとその金融環境の背景も
違うというのは当然あるんですが、一つ言っているのはですね、
あの 80 年代のアメリカの株って全然上がらなかったんですよ。
それはこういう S&L なんかの問題をずっと抱えたまま、
ちょこちょこ話が出てきて金利も高い状態にあったということもあって、
ずっと上がらなかったんです。

その後に 90 年代のガースというね、IT バブルに向かっていく、
アメリカの会長差が始まって、そしてさらに今 21 世紀に入ってから
アメリカのさらなるね、あの第 2 弾のリーマンショックに至るまでのバブルがあり、
そしてそれが終わった後の、大金融緩和を経た上での
このコロナバブルの後に至るまでの史上最高値を
どんどん超えていくという波に変わっていったんですが、
結局 80 年代にずっと動かない状態から、
ようやく 90 年代になってそういうところに立ったということは、
そういう風になるんじゃないかなと
言っている FRB の要人もいます。

ということは、この先の 30 年のことはわからないにしても、
少なくとも目先、その今我々が 21 世紀に入ってから見ている
アメリカの株は上がり続ける、ちょっと下がってもまた急激に
買いがあって上がり続ける、っていう風なパターンというのが、
ひょっとすると変わる可能性というものを
秘めてるっていう事なんですよ。

V ガンマを身につけると何が変わるかといえば、
結局明日で何も大したことない材料であったり、
それからほんのちょっとのショック、
要するにリーマンショックほど本来、
何かやって 1000 倍になったら嬉しい話なんですけれども、
でも 1000 倍っていうのは単純に言えば、
100 倍が 10 回あれば 1000 倍になりますし、
10 倍が 100 回あったら 1000 倍になりますよね。

ということは、その 10 倍ぐらいが
ああやって何でもない中で起きるのであれば、

意外にコツコツというは言わずしてですね、
その 1000 倍を狙う以前に、そういう機会がちょこちょこ、
要するに目先早くこのスキルを身につけることによって
その機会がたくさんあれば、10 年に 1 回か数十年に 1 回起こる
なんちゃらショックじゃなくても、
気がついたらそれと同じだけのものが
残っているっていう事にもなるっていう
裏返しでもありますので、
世の中が過熱してるビッグニュースとか、
そういうところで乗っていくということもできますし、
そうじゃないのでも、あれ何でだろうって思いながらも
10 倍になっちゃったっていうこともありますし、
ということなので、何も何十年に 1 回のものを狙わなくても
十分にお金は残っていきます。

なので単に株がこの先上がるか下がるかということだけを考えるとか、
円相場どっちに行くかなって考えるよりはかなり楽な方法ですよ。
しかも 1 日にかかる時間というのは本当に短いのでとっても楽です。

なのでもうやるかやらないか、
参加するかしないかっていうねその選択肢だけです。

しかもこれは少額投資でもありますし、
また上級編になれば、ゼロから利益だけを積み上げていくという、
安全型の積み上げ方とことにもなるので、
早くそれに参加しない手はないかなというふうにも思いますし、
本当にこれを知らないのは非常にもったいないかな、
というふうに考えています。

とにかくですね、大抵の人は何かマーケットが動いているとか
世間が騒ぎ始めたとか、過熱し始めたとかって言っても、
じゃあ実際にどんなトレードをしていいのかわからない、
いざその時が来たらわからないっていう人はほとんどですし、
せいぜい株を買ってみようとかだったら、
すごいドル円上がってるから
あのドル円買ってみようとかっていう風なことをで
参加してしまうっていうのがほとんどになってしまうんですが、
これでは非常にもったいないですよ。

というのは、そんなことに至る前に揺れてるマーケットが

存在しているわけですから、大変もったいないです。

あともう一つ、日本の市場だけのことを考えると
大問題を抱えてるんですよね。

それは何かというと、アビクロの日銀が抱えている異次元緩和から、
もう完全に超異例の、そして大矛盾を孕んで進んできたこの 10 年間の
日銀、政府の政策の後始末のフェーズに入っていくという、
その大問題が待ち構えているという、
これが今日本の抱えるかなり大きな問題です。

さっきのチャートでも見てきたように、
この円相場の動きというのが、この V ガンマでも
相手にしているマーケットに大きな影響を及ぼしているのが
見て取れると思うんですが、
この後始末をしていくという中では、
まさにこの揺れというのがより起きやすくなる、
要は他のアメリカなんかよりも逆に起きやすくなる
ということにもなりかねませんので、
ほぼ確実と言っていいほど儲かるチャンスが、
100 倍を狙えるチャンスが難しくないということになります。

では、次回はこのロジックについての取引資料ついに公開いたします。

コメント特典がございます。

下のコメント欄にコメントをご記入ください。

今日からトレードにも役立つ素敵な特典をプレゼントいたします。

また今後も LINE の読者様限定で、
この動画では言えなかった情報内容であったり、
最新の情報なんかもお届けしますので
ぜひ LINE の方もご登録ください。

それでは次回の動画もお楽しみに。